

藤枝・図書館友の会ニュース

<第27号・2016年10月発行>

2面・3面／藤枝市立図書館の状況と今年度の事業 4面／掛川市立図書館見学会報告
5面／岡部おはなしの会・夏の研修会 6面／ブックトーク、読書週間

第4回 知的書評合戦 ビブリオバトルin 藤枝

ビブリオ（＝書物）バトルとは、
発表者がおすすめする本を、1人
5分で順番に紹介。観覧者がある
中で一番読みたくなった本（＝チ
ャンプ本）を投票して決定するゲ
ーム感覚の「知的書評合戦」です。



11/23(水) 13:30～15:00

藤枝市立駅南図書館・集会室



地域交流
イベント

お勧め本発表者（パトラー）、観覧者を募集します！

【発表者】5名（要申込み）> 締切り・11月6日（日）、下記まで

①電話／054-644-1248・後藤 ②駅南図書館カウンター

【観覧者】50人（申込不要。当日、会場へお出かけ下さい）

源氏物語<連続>朗読会スタート

次回（第2回）は「末摘花」、11月13日（日）
13:30から駅南図書館です。大石美代子さんの朗読
を聴く形式で、1回毎に完結です。

友の会会員の方は資料代300円不要です。
お誘い合わせて、ぜひ、お出かけください。

「藤枝市立図書館の状況と

今年度の事業」

藤枝市教委・図書館に依頼した
文書を、2～3面へ掲載しました。
“藤枝市の図書館のいま”を紹介
するものです。ぜひ、ご覧ください。

藤枝市立図書館の状況（平成27年度）と今年度の事業

日ごろから図書館運営にご協力いただき、ありがとうございます。
平成27年度の藤枝市立図書館の状況や運営と今年度の事業について説明させていただきます。
今年度の図書課のキャッチフレーズ「来ぶらり（ライブラリ）で待ってるよ！」のとおり、
多くの皆様のご利用を職員一同でお待ちしています。

藤枝市立図書館



photo.jp - 7621790

「平成27年度藤枝市の教育」から抜粋

- ア 図書館活動総括表
- イ 分類別蔵書数・貸出冊数（視聴覚資料含む）
- ウ 施設別蔵書数・貸出冊数・延利用者数（次頁）
【図書館の管理運営について】（次頁）
【子ども読書活動推進事業について】（次頁）

ア 図書館活動総括表

区分	蔵書数 (冊)	図書等受払数			貸出冊数 (冊)	レファレンス 件数 (冊)	予約冊数 (冊)	リクエスト 冊数 (冊)
		購入 (冊)	寄贈 (冊)	除籍 (冊)				
26年度	538,862	20,509	3,618	5,375	1,039,133	13,884	68,981	2,322
27年度	555,045	20,546	2,434	7,338	1,028,780	11,956	68,012	2,892
区分	相互貸借		利用登録者 数 (人)	実利用者数 (年間) (人)	延利用者数 (年間) (人)	移動図書館車		団体貸出 (冊)
	貸出 (冊)	借受 (冊)				台数 (台)	ステーション (所)	
26年度	988	1,410	118,368	24,933	285,078	1	20	41,507
27年度	840	1,189	121,471	24,614	283,848	1	20	43,830

イ 分類別蔵書数・貸出冊数（視聴覚資料含む）

（単位：冊）

区分	0 総記	1 哲学	2 歴・地	3 社 会 科 学	4 自 然 科 学	5 工 技	6 産 業	7 芸 術	8 言 語
蔵書数	19,378	13,248	33,782	50,651	25,689	35,920	13,325	34,319	5,879
貸出数	9,593	23,286	54,755	41,802	34,038	91,532	22,295	41,092	7,009
区分	9 文 学	小計	参 考 書	郷 土 資 料	小計	児 童 書	絵 本	紙 芝 居	小計
蔵書数	103,992	336,183	16,237	18,501	34,738	86,996	66,490	4,816	158,302
貸出数	207,980	533,382	—	3,423	3,423	175,621	234,105	6,573	416,299
区分	カ セ ッ ト テ ー プ	C D	ビ デ オ	D V D	小 計	雑 誌	読 書 会 デ キ ス ト	合 計	
蔵書数	57	5,816	802	2,415	9,090	14,382	2,350	555,045	
貸出数	24	19,947	201	15,787	35,959	39,657	60	1,028,780	

➤ 3頁へ続く

ウ 施設別蔵書数・貸出冊数・延利用者数（A V含む）

区 分		駅南 図書館	岡出山 図書館	岡部 図書館	移 動 図書館	小 計	公民館 図書室	合 計
蔵書数(冊)	26年度	284,169	137,664	51,391	4,849	478,073	60,195	538,288
	27年度	290,276	137,411	54,362	4,370	486,419	68,626	555,045
貸出冊数(冊)	26年度	663,928	267,484	67,005	12,709	1,011,126	28,007	1,039,133
	27年度	658,405	257,819	69,823	14,211	1,000,258	28,522	1,028,780
延利用者(人)	26年度	179,602	72,035	19,770	2,313	273,720	11,358	285,078
	27年度	178,809	67,404	20,482	2,525	269,220	11,605	280,825

(以上、平成27年度藤枝市の教育から抜粋)

【図書館の管理運営について】

藤枝市立図書館は、駅南図書館・岡出山図書館・岡部図書館があり、公民館図書室とのネットワーク化による貸出・返却、本の相談や県立及び他市町の図書館との相互貸借など、身近で利用しやすい図書館サービスを提供しています。

3館の特色として、駅南図書館はビジネス関連、岡出山図書館は児童・幼児・育児関連、岡部図書館は歴史、街道文化関連と、それぞれの資料が充実しています。

また、駅南図書館では、エコノミックガーデニング支援センター「エフドア」を開設し、ビジネス書を充実させ、地元企業を応援し地域を活性化させる政策である「藤枝エコノミックガーデニング事業」の支援をしています。

本年の5月14日(土)には駅南図書館で「来館者300万人達成記念セレモニー」を開催しました。

平成21年2月の開館から7年3ヶ月で300万人を達成し、年間40万人を超える多くの方が来館してご利用いただいております。

今後、さらに多くの方のさまざまなニーズにお応えできる図書館サービスを進めていきます。

【子ども読書活動推進事業について】

子どもが自主的な読書活動を行うための環境整備や読書機会の提供、読書活動などの推進を積極的に図ることを目的とした「藤枝市子ども読書活動推進計画(第三次)」を平成28年3月に策定しました。

キャッチフレーズ「豊かな心をはぐくむ 読書の輪 読書でふくらむ未来の夢！」の実現に向け、図書館を中心に様々な事業に取り組みます。

- ・ 8月7日(日)に駅南図書館において、「子ども読書活動推進講演会」として藤枝市出身の脳科学者である東京大学薬学部教授の池谷裕二さんを講師にお招きし、「脳を知って、脳を活かす」と題した講演会を開催し、100名以上が参加しました。
- ・ 今後、予定している事業
 - 10月29日(土) 「iPadを使ったオリジナル絵本作り」(岡出山図書館)
 - 11月19日(土) 製本講座「オリジナル読書ノートを作ろう」(岡部図書館)
 - 11月27日(日) 製本講座「オリジナル読書ノートを作ろう」(駅南図書館)

「藤枝市立図書館の状況と今年度の事業」(2~3頁)は、友の会が、藤枝市図書館課に依頼して寄稿していただいたものです。

掛川市立中央図書館 見学会の報告



友の会恒例の見学会を9月14日(水)実施しました。JR藤枝駅へ9時集合。10:00~11:30まで、職員の説明と館内見学。その後、周辺施設見学散策。昼食を北の丸でいただき懇談・交流後、現地解散。参加された勝又・落合両氏に感想を寄せていただきました。当日の参加は23名

<感想文1>

抜群の読書環境、緑の中の図書館

勝又 俊夫(友の会会員)

藤枝・図書館友の会主催による図書館見学会に参加し、掛川市立中央図書館に行ってきた。同図書館はJR掛川駅より徒歩15分、掛川城・二の丸美術館・ステンドグラス美術館等に隣接している。周辺は緑地・木々も多く、城下町の風情が漂い、「抜群の読書環境、緑の中の図書館」といった印象をうけた。2001年6月開館、今年開館15周年。図書館の内外は木材がふんだんに使われており、フロアは広く、図書館スペース・各種カウンターが一般用・児童用に明確に区分され、読書室はもとより、読み聞かせ用の部屋・朗読室等が整備され、落ち着いた雰囲気ですぐ読書ができる環境が市民に提供されている。(貸出資料の中に、絵画が含まれているのが特に目について)

それら施設の活用については、職員の方の説明によると、26団体ある図書館ボランティアとの連携・協力による読み聞かせをはじめ、古文書や文学鑑賞講座や新しい取り組みとして、「十六夜(いざよい)の図書館」と銘打った初秋のイベントを行い、親子向けの読み聞かせに加え、一般向けにも朗読・生演奏会等を開催し、その充実に努めているとのことであった。また、乳幼児対象に行っているブックスタート事業に加え、今年度の事業計画より、新たに2歳2か月児検診で絵本を配布する事業を開始したとの説明もあった。

図書館の利用状況について、2011年をピークに減少傾向にあったが、今年度は利用者が増えているようである。これも、図書館職員の方々の懸命なる取り組みによるところが大きいのではと感じられた。見学会の後の交流会も含め、参考となることの多い見学会であった。



児童閲覧室にある「おはなしのへや」



北の丸入口で全員集合

落合文子（友の会会員）

当日は早朝から雨が降っていましたが、掛川駅に着く頃には雨が上がり過ごし易い一日となりました。図書館の外観はとても風格があり、周辺の施設と調和のとれた重厚な建物。

素晴らしい環境の中にある図書館だと思いました。館内は木材がふんだんに使っており、とても温かみのあるリラックスできる空間です。書架は低く、とても広く感じられ、ガラス越しに外の緑の木々が目の前に広がり、清々しく感じました。子どものお話の部屋は円形で夢のあるデザイン。様々なスタイルの居心地良い読書席。隅々まで考えられたレイアウト。

司書の方のお話から、常に危機感を持って働いているとの言葉に、図書館への熱い思いが伝わってきました。子どもたちの未来のための読書活動推進計画や、図書館の事業・運営を協議会、ボランティア活動グループ等の様々な人たちが、みんなで支えている図書館の姿が見えてきました。「図書館の概要」に、「市民を支え、市民に支えられる、市民の図書館に」の言葉が響いてきます。

周辺にある二の丸美術館とステンドグラス美術館。19世紀にイギリス、フランスで制作され実際に教会の窓を飾っていたステンドグラスの作品を鑑賞後、「竹の丸」（掛川市指定有形文化財）で昼食。参加者22名全員からの感想を聞くことができました。

掛川城天守閣では爽やかな天空の風が吹き、全てを知り尽くしたガイドさんの熱心な説明に時の経つのを忘れてしまう程でした。「御殿」では地元の方にお話を聴いたり、いろんな熱い思いに触れた一日でした。最後に藤枝市立駅南図書館が多くの市民に愛され利用される図書館となるように願っています。

「岡部おはなしの会」夏の研修会雑感

猪熊優子（友の会会員）

恒例の「夏のお話会」と大人向けの研修会を岡部図書館3階で開きました。（7月23日）

毎年中央から講師をお招きして藤枝の子ども達には良いお話会を届け、私たちは講義を聴き学習しようという趣向です。過去2年は「藤枝子どもと本をつなぐ会」の協力を得て実施しましたが、本年は私たちの会単独での開催となりました。今年の講師は全日本語りネットワーク理事の末吉正子氏をお招きし、語りの神髄を披露していただきました。

午前の部は子どもを主体とした一般の方向けのお話会で、末吉氏による身振り手振り豊に楽しい、思わず笑い顔になる語りを、いくつか実演していただきました。

午後の部は、主としてお話会に関わっている方達のための語り、全員を巻き込んだのワークショップです。お話を一度聞いてその場で思い出しながら次々と繋いでいくとか、聞いたお話の一場面をグループ毎に無音で再現したり、など、集中力や創造力を要求される楽しい時間を過ごしました。アンケートの全てが「楽しかった」「良い刺激を受けた」「目から鱗の経験だった」などの感想で、私達も多少の無理をしてもプロの方にお出かけ頂く事の大切さを再認識しました。

残念に思ったのは、もっと多くの子どもたちに参加して欲しかったこと、語りの世界の楽しさに触れて欲しかったことでした。どんな活動をしてでも集客という点で悩んでしまいます。折角の素晴らしい機会を何とか皆さんに捉えて頂きたいものです。私たち自身のためにも、こうした研修を続けたいと思っています。図書館友の会の皆さまも、またの機会には是非お出かけ頂きますようお願いしております。



ある日突然、男の前に「あなたの息子です」と名乗る少年が現れる。身に覚えのある男は訳が判らないまま少年と暮らすことに。戸惑い、葛藤、嬉しさ、幸福感……様々に揺れる心。

ぎこちなかった二人の生活がだんだん、かけがえのないものになってゆく。そんな中で、二人を取りまく職場の同僚やホストクラブの仲間たちの個性的すぎるキャラクター、そして人情味あふれる温かさが、この作品全体を丸く大きく包んでいる。読んでいるうちに、男と少年だけでなく登場人物全てが、とても愛おしく思えてくる。

ラストの展開は少し切ないけれど、希望の未来を予感させる。

そして、親と子の血のつながりって永遠なんだなあとと思う。

「和菓子のアン」で第2回静岡県書店大賞を受賞した作者ですが、それとどこか似ていながら、また違う面白さに満ちた作品。読み終わって気持ちが、とても温かくなりました。

小宮朱実（友の会会員）



今年も“読書週間”がやってきた！

10月27日～11月9日（文化の日を中心とした2週間）は「読書週間」。戦禍の残る1947年、「読書の力によって平和な文化国家をめざそう」と官民挙げて開催されたのがスタート。

読書週間は日本の国民的な行事として定着し、世界有数の「本を読む国民の国」と言われる大きな力となったと評価されています。

今年は第70回目でスローガンは、「いざ、読書。」

情報伝達の流れは大きく変容しようとしています。その使い手が人間である限り人間性を育て、かたちづくるのに「本」が重要な役割を果たすことに変わりはないでしょう。

この週間に、ぜひ、図書館へ出かけましょう。本に触れ、読書の楽しさや素晴らしさを知り、本に親しむきっかけとしたりいかがでしょう。



上▶ ポスター
左▶ 読書週間の
マーク

藤枝・図書館友の会から皆さまへ

- ◎ ピプリオバトルの「パトラー」（本の発表者）募集は11月6日まで。定員5名。
自薦・他薦での応募お待ちしております。
- ◎ 第24回静岡県図書館大会が11月7日（月）、グランシップで開催されます。参加締切は過ぎますが傍聴は可能のようです。9:45～15:45
- ◎ 友の会会員を募集しています。お知り合いの方へ友の会入会を勧めて下さるようお願いいたします。
会費未納の方、納入をお願いします。なお、2年間未納の方は退会の扱いとさせていただきます。

藤枝・図書館友の会ニュース第27号

2016年10月発行



友の会事務局 〒426-0044
藤枝市大東町304-3 桑原方
電話・FAX054-635-0122
HP [藤枝・図書館友の会](#) 検索